

沖永良部事務所（令和8年7月分）管内情勢

農業関係

1 新規就農者に期待！励ましの会を開催（7月10日）

7月10日（金）、和泊町やすらぎ館において「新規就農者励ましの会」を開催した。令和7年度に新規就農した和泊町の2名、知名町の1名の計3名が出席し、指導農業士、青年クラブ、女性農業経営士を含む47名が参加した。

新規就農者は自己紹介と併せて「農業は思ったより簡単ではないが、周りの人に助けてもらいながら日々頑張っていこうと思う。」など抱負を述べた。

両町長から励ましの言葉が贈られるとともに、支援体制や4HＣの紹介等も行われ、関係機関一体となって激励した。

新規就農者が営農定着できるよう、引き続き支援を行っていく。



2 「第22回沖永良部地区肉用牛共進会」及び「第16回ヨロン黒牛まつり」が開催される

7月29日（水）に沖永良部家畜市場で第22回沖永良部地区肉用牛共進会が開催され、15頭の牛が出品された。

7月30日（木）には与論家畜市場で第16回ヨロン黒牛まつりが開催され、13頭の牛が出品された。

沖永良部地区肉用牛共進会は、大島地区肉用牛振興大会の開催年に合わせて3年ごとに開催されており、今回は同振興大会の予選会を兼ねて3年ぶりの開催となった。一方、ヨロン黒牛まつりは毎年開催されており、こちらも同じく振興大会の予選会を兼ねて開催された。出品された牛は、いずれも発育が良好で体躯が充実するなど、地域における和牛改良の水準の高さがうかがえた。

今回選出された代表牛が、10月に開催される「第20回大島地区肉用牛振興大会」で優秀な成績を収められるよう、引き続き支援していく。



3 沖永良部果樹生産組合マンゴー品評会が開催される (7月31日)

7月31日(金)、知名町役場において沖永良部果樹生産組合マンゴー品評会が開催され、組合員や関係機関など約30名が参加した。

品評会では、玉揃い、外観、果肉色、糖度及び食味の各項目について審査が行われ、金賞1名を含む5名が入賞した。

今年は20点の出品があり、昨年を上回る高品質なマンゴーが多数揃った。一玉一玉のマンゴーには、地元農家が日頃から丁寧に栽培管理を行い、高い栽培技術を駆使して育て上げた成果が表れていた。

審査終了後には、農業開発総合センター大島支場による栽培管理研修会も行われ、参加者は次年度の安定生産に向けた栽培技術や管理方法について理解を深めた。

今後も関係機関と連携し、マンゴー産地の品質向上とブランド力の強化に向けた支援を行っていく。

